

アナリスト レポート

緩やかな回復基調のなかで 弱含みの動きがみられる

しがぎん
経済文化センター
(産業・市場調査部)

県内景気 天気図



- 凡例
 ☀️ 晴れ ☁️ 晴れ一部曇り
 ☁️ 曇り ☁️ 曇り一部雨
 🌧️ 雨
 前月比
 ⬆️ 上昇・好転 ⬆️ 横ばい
 ⬇️ 下降・悪化

県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動を鉱工業生産指数でみると、輸送機械(なかでも自動車部品)や鉄鋼、化学(同化粧品)などは上昇したが、食料品(同清涼飲料)やプラスチック製品などが低下したため、前年同月比では20か月ぶりに低下、前月比でも2か月ぶりに低下した。

需要面では、百貨店・スーパー販売額は全店ベースで4か月連続、既存店ベースも19か月連続でともに減少したものの、ドラッグストアの販売額が39か月連続の増加で好調が続く、コンビニエンスストアの販売額も2か月ぶりに増加したため、これらの小売業態計の売上高は2か月ぶりの増加となった。また、乗用車の新車登録台数は13か月ぶり、軽乗用車の新車販売台数は2か月連続でともに増加し、トラックの新車登録台数も4か月連続かつ大幅の増加となっている。民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積はサービス業用で減少したものの、鉱工業用と商業用で減少したため、3業用計では3か月ぶりに増加した。

一方、新設住宅着工戸数は持家が3か月連続、分譲住宅は2か月ぶりにともに増加したが、貸家が3か月ぶりに大幅減少したため、全体では2か月連続の減少となった。また、公共工事の請負件数は

京滋の景気動向

京都府・滋賀県の景気は、拡大している。ただし、先行きについては、台風21号の影響が懸念される。

個人消費は、緩やかに増加している。設備投資は、一段と増加している。住宅投資は、持ち直している。

4か月ぶりに減少、金額も2か月ぶりの大幅減少となった。

このような中、雇用情勢をみると、新規求人倍率は前月比低下したが、前月に続き2倍を超え、有効求人倍率は上昇しているが、常用雇用指数が3か月連続で減少するなど、今までのひっ迫感に緩和の兆しがみられる。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は在庫調整の長期化に加え、内需関連で伸び悩んだため、弱含みの動きがみられる。一方、需要面では個人消費や住宅投資の一部、公共投資で伸び悩みがみられるものの総じて堅調に推移している。したがって県内景気の現状は、緩やかな回復基調のなかで弱含みの動きがみられる。

今後の動向 県内製造業の生産活動は、現状の内需関連需要の伸び悩みに加え、米中貿易戦争の悪影響が一部の外需関連需要でも懸念されるため、全体に弱含みの動きが続くものとみられる。需要面では、景気の先行き不透明感などから、力強さに欠けた状態が続くと考えられる。したがって今後の県内景気については、海外経済の不確実性やそれに伴う景気の下振れ懸念などから、緩やかな回復基調に足踏み感がでてくると考えられる。

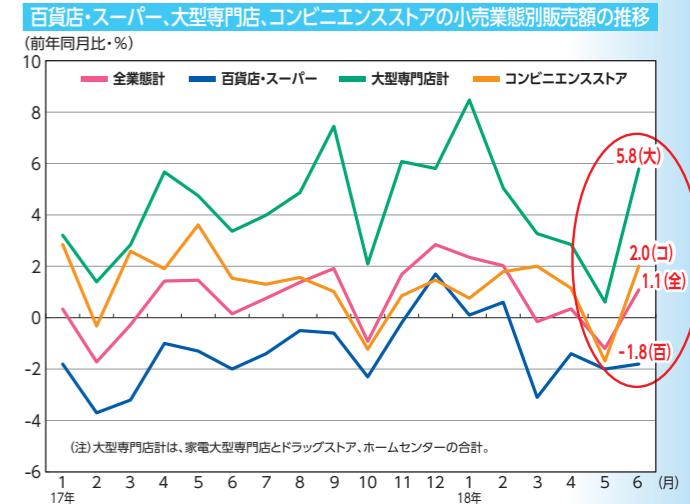
公共投資は、持ち直している。生産、輸出は、増加基調にある。労働需給は着実に引き締まっており、雇用者所得も緩やかに増加している。

【日本銀行京都支店:「管内金融経済概況」(2018年9月10日発表)より】

「小売業態計売上高」は 2か月ぶりに増加

- ・「百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象店舗数は97店舗)」(6月)は、21,801百万円、前年同月比-1.8%、4か月連続で減少。品目別では、すべての品目で減少し、ウエイトの高い飲料品は8か月ぶりに減少(同-0.1%)、衣料品は24か月連続で減少(同-2.8%)、家庭用品は14か月連続で減少(同-5.1%)、身の回り品は6か月連続で減少(同-1.9%)、家電機器は2か月ぶりに減少(同-2.2%)。「既存店ベース(=店舗調整後)」では、すべての品目で減少し、全体では19か月連続で減少(同-2.8%)。
- ・「ドラッグストア(全店ベース=店舗調整前、6月、190店舗)」は、5,825百万円、前年同月比+9.2%で、39か月連続で増加、「家電大型専門店(同41店舗)」は、3,441百万円、同+13.0%で、2か月連続で増加、「ホームセンター(同60店舗)」は、3,119百万円、同-6.3%で、5か月連続で減少。「コンビニエンスストア販売額(同565店舗)」は、9,652百万円、同+2.0%で、2か月ぶりに増加。
- ・小売業態計売上高(6月)は、43,838百万円、前年同月比+1.1%で、2か月ぶりに増加。

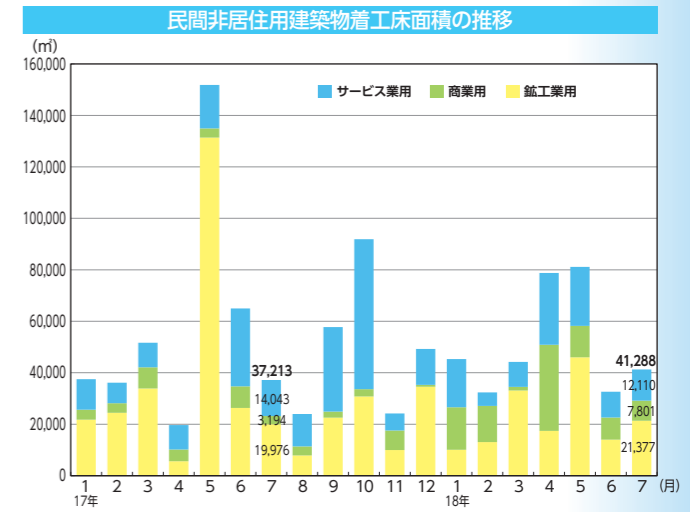
・「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(7月)は、「普通乗用車(3ナンバー車)」は4か月ぶりに増加(1,699台、前年同月比+8.5%)、「小型乗用車(5ナンバー車)」は11か月ぶりに増加(1,407台、同+6.5%)。2車種合計は13か月ぶりに増加(3,106台、同+7.6%)。「軽乗用車」は、2か月連続で増加(1,987台、同+4.1%)。



「民間非居住用建築物着工床面積」は 3か月ぶりに増加

- ・「民間非居住用建築物着工床面積」(7月)は、「鉱工業用」は3か月ぶりに増加(21,377㎡、前年同月比+7.0%)、「商業用」は4か月連続で大幅増加(7,801㎡、同+144.2%)、「サービス業用」は2か月連続で減少(12,110㎡、同-13.8%)。3業用計では41,288㎡、同+11.0%で、3か月ぶりに増加。
- 【7月の主な業種別・地域別申請状況】
- (イ)「鉱工業用」:大津市(4,843㎡)、東近江市(3,120㎡)、高島市(3,094㎡)、甲賀市(2,307㎡)、長浜市(2,067㎡)、竜王町(2,001㎡)、草津市(1,417㎡)など
- (ロ)「商業用」:長浜市(3,653㎡)、近江八幡市(1,114㎡)、守山市(1,093㎡)など
- (ハ)「サービス業用」:長浜市(4,233㎡)、東近江市(2,495㎡)、栗東市(1,184㎡)、大津市(1,044㎡)など
- ・トラック新車登録台数(7月)は、「普通トラック(1ナンバー車)」が

4か月連続で増加(127台、同+54.9%)、「小型四輪トラック(4ナンバー車)」が3か月ぶりに増加(231台、同+22.2%)。2車種合計では4か月連続かつ大幅に増加(358台、同+32.1%)。



「新設住宅着工戸数」は 2か月連続で減少

- ・「新設住宅着工戸数」(7月)は709戸、前年同月比-4.7%で、2か月連続で減少。
- ・利用関係別では、「持家」は353戸、同+2.9%で、3か月連続で増加(大津市75戸、草津市48戸など)、「貸家」は138戸、同-52.1%で、3か月ぶりに減少(草津市30戸など)。「給与住宅」は2戸。
- ・「分譲住宅」は216戸、同+92.9%で、2か月ぶりに大幅増加(大津市85戸、守山市74戸など)。「一戸建て」は2か月ぶりに増加(99戸、前年差+17戸)、「分譲マンション」は3か月ぶりに大幅増加(117戸、同+87戸)。

